

(第一紙) T23p83b15~

- 1
2 十誦律二誦¹卷第六^{2,3} 十一^{4,5,6}
- 3 仏在王舎城爾時六群比丘与助提婆達
4 多比丘尼共載一船調戲大笑作僂惡語種
5 種不清淨業是有白衣在兩岸上見已共
6 相謂言汝等看是為是婦邪⁷、為是私通必共作⁸。
7 欲事是有比丘少欲知足行頭陀聞是事
8 心不喜向仏広説仏以是事集比丘僧知而
9 故問六群比丘汝実作是事不答言実作世
10 尊仏以種種因縁呵⁹責云何名比丘与比丘
11 尼共載一船種種因縁呵¹⁰已語諸比丘以十
12 利故与諸比丘結戒從今是戒応如是説
13 若比丘与比丘尼共期載一船波逸提期者
14 有二種若比丘作期若比丘尼作期波逸提
15 者¹¹燒煮¹²覆障若不悔過能障礙道
16 是中犯者若一比丘与一比丘尼共期載一
17 船一波逸提若一比丘与二三四比丘尼共
18 期載一船四波逸提若二比丘与二比丘尼
19 共期載一船二波逸提若与三四一比丘尼
20 共期載一船一波逸提若三比丘与三比丘
21 尼共期載一船三波逸提若与四一二比丘
22 尼共期載一船二波逸提若四比丘与四比
23 丘尼共期載一船四波逸提¹³
24 仏在舎衛国爾時諸比丘尼從僑薩羅国遊

1 「二誦」一【大】 「二」の右傍に「第」（朱書）あり。大正蔵の校注は、（律十（第二誦）〈聖〉〈聖
乙〉*）となっている。
2 六〇二二【大】 大正蔵に校注なし。「六」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「十二」（朱書）あ
り。

3 「第二誦之六」+【大】

4 「十一」一【大】 大正蔵に校注なし。

5 「後秦北印度三藏弗若多羅譯」+【大】

6 「九十波逸提之四」+【大】 SUTeキストデータベースの校注の内容（「九十波逸提の四」一〈聖
乙〉）に誤植あり。

7 邪二耶【大】 大正蔵に校注なし。

8 「姪」+【大】

9 呵二訶【大】 大正蔵に校注なし。

10 呵二訶【大】 大正蔵に校注なし。

11 燒煮二煮燒【大】 大正蔵に校注なし。

12 「若与一二三比丘尼共期載一船三波逸提」+【大】

(第二紙) T23p83c13~

- 1 行向舍衛城至河岸上住待船爾時有諸比
- 2 丘¹³從憍薩羅國遊行向舍衛城到河¹⁴上待船
- 3 船至比丘便疾上船諸比丘尼復來欲上¹⁵諸
- 4 比丘言汝莫上何以故仏結戒比丘不得与
- 5 比丘尼共載一船諸比丘尼言若然者大衆¹⁶
- 6 先度¹⁷是船即去更不復還諸比丘尼即於岸
- 7 上宿夜有賊來¹⁸悉奪衣裸形¹⁹諸比丘遊行到
- 8 舍衛國詣仏所頭面礼²⁰足一面立諸仏常法
- 9 有客比丘來以如是語勞問忍不足不安樂
- 10 住不乞食易得道路不疲²¹諸比丘答言世
- 11 尊忍足安樂住乞食易得道路不疲即以是
- 12 事向仏広説仏以是事集比丘僧種種因縁
- 13 讚戒讚持戒讚戒讚持戒已語諸比丘從今
- 14 是戒応如是説
- 15 若比丘与比丘尼共期載一船上水下水波
- 16 逸提除直渡上水者逆流下²²者順流直渡者
- 17 直到彼岸
- 18 是中犯者若比丘与一比丘尼共載一船上
- 19 水從一聚落至一聚落波逸提中道還者突
- 20 吉羅若無聚落空地乃至一拘盧舍波逸提
- 21 中道還者突吉羅下水亦如是不犯者若不
- 22 共期若直渡若欲直渡為水飄²³去若直渡前
- 23 岸崩墮若飄²⁴失行具船上下不犯 二一十五ノ事²⁵竟
- 24 仏在舍衛國爾時諸比丘在屏処分衣有一

13 【亦】+【大】 SATテキストデータベースの校注の内容(【亦】〈聖乙〉)に誤植あり。

14 【岸】+【大】

15 【船】+【大】

16 衆¹⁶徳【大】

17 度¹⁷渡【大】

18 来¹⁸采【大】

19 【放去】+【大】

20 【仏】+【大】

21 邪²¹耶【大】 大正蔵に校注なし。

22 【仏即時以是語問訊諸比丘忍不足不乞食不²²乏道路不疲耶】+【大】

23 【水】+【大】

24 飄²⁴漂【大】 大正蔵の校注は、(漂²⁴飄²⁴〈聖乙〉*)となっている。

25 飄²⁵漂【大】

26 【事】-【大】 大正蔵の校注は、(事)+竟²⁶〈聖乙〉*となっている。

25 比丘是偷蘭難陀比丘尼²⁵、旧相識数数共語

(第二紙) T23p84a09~

- 1 親善狎習是比丘從分衣処出偷蘭難陀比
- 2 丘尼見已問言大德從何処来答言²⁶彼²⁶処分
- 3 衣来汝所得衣²⁶何似答言好比比丘尼看已言
- 4 実好問言汝須是衣²⁷邪²⁷比丘尼言正使須者
- 5 我是女人薄福当何從得²⁸是比丘作是念是
- 6 比丘尼作如是決定索云何不²⁸即以衣与
- 7 偷蘭難陀比丘尼時仏夏末月遊行諸国諸
- 8 比丘皆着新衣是比丘独着故衣仏見已知而
- 9 故問汝何以独着故衣比丘以是事向仏広
- 10 説仏知故問阿難是比丘今与非親里比丘
- 11 尼衣²⁹邪²⁹答言実与世尊仏以是事集比丘僧
- 12 種種因縁³⁰呵³⁰責云何名比丘与非親里比丘
- 13 尼衣何以故非親里人不能問衣足不足為
- 14 更有無有得便直取若親里者能問足不足
- 15 為更有無有若無能自与何況從索仏種種
- 16 因縁³¹呵³¹已語諸比丘以十利故与諸比丘結
- 17 戒從今是戒応如是説
- 18 若比丘与非親里比丘尼衣波逸提親里者
- 19 父³²母姊妹³²兒³²女乃至七世因縁異是名非親
- 20 里衣者³³白麻衣赤麻衣³³野麻³³衣³³蓼麻衣³³翅夷
- 21 羅衣³⁴僑³⁴縑³⁴邪³⁴衣³⁴劫貝衣³⁴波逸提者³⁴煮燒覆障

27 【知】+【大】
 28 【從】+【大】
 29 彼²⁹某【大】
 30 【分】+【大】 大正蔵の校注の内容(「衣」-「聖」<聖乙>)が間違えている。
 31 邪³¹耶【大】 大正蔵に校注なし。
 32 【時】+【大】 大正蔵に校注なし。
 33 邪³³耶【大】 大正蔵に校注なし。
 34 呵³⁴訶【大】 大正蔵に校注なし。
 35 呵³⁵訶【大】 大正蔵に校注なし。
 36 親里者父³⁶非親里者親里名【大】
 37 兒³⁷若【大】 大正蔵の校注は、(若³⁷兒<聖>)<聖乙>*となつてゐる。
 38 【麻衣】+【大】
 39 野麻³⁹芻摩【大】
 40 【蓼麻衣】-【大】
 41 縑⁴¹施【大】 大正蔵の校注は、(施⁴¹縑<聖>)<聖乙>*となつてゐる。
 42 邪⁴²耶【大】 大正蔵に校注なし。

22 若不悔過能障礙道

23 是中犯者**若比丘有非親里比丘尼与衣波**

24 **逸提**若比丘有非親里比丘尼謂是親里与

25 衣波逸提若非親里比丘尼謂是比丘式又

(第四紙) T23p84b04~

1 摩尼沙弥沙弥尼出家出家尼与衣波逸提

2 若比丘有非親里比丘尼生疑是親里非親

3 里与衣波逸提若比丘有非親里比丘尼生

4 疑是比丘非比丘是式又摩尼非式又摩尼

5 是沙弥非沙弥是沙弥尼非沙弥尼是出家

6 非出家是出家尼非出家尼与衣皆波逸提

7 若比丘有親里比丘尼生非親里想与衣突

8 吉羅若親里比丘尼生比丘想式又摩尼沙

9 弥沙弥尼出家出家尼想与衣突吉羅若比

10 丘有親里比丘尼生疑是親里非親里与衣

11 突吉羅若親里比丘尼生疑是比丘非比丘_下

12 式又摩尼非式又摩尼是沙弥非沙弥是沙

13 弥尼非沙弥尼是出家非出家是出家尼非

14 出家尼与衣突吉羅若比丘有親里比丘尼

15 若謂若疑有非親里比丘尼若謂若不謂若

16 疑若不疑与不淨衣謂**馳**毛衣牛毛衣殺羊

17 毛衣雜毛織衣与突吉羅 (二十六/事_竟)

18 仏在舍衛国爾時迦留陀夷与掘多比丘尼

19 旧相識数_多語親善狎習是掘多比丘尼有

20 衣応割截作是比丘尼語迦留陀夷大德能

21 為我割截作是衣不答言留置即留便去迦

22 留陀夷即取舒展割截**簪**刺当衣脊中作男

23 女和合像**縫**已卷疊着本処掘多比丘尼来

24 問大德与我割截作衣竟未答言已作此是

25 汝衣持去莫此間舒還比丘尼寺中可舒即

²³ 〔若比丘有非親里比丘尼与衣波逸提〕一〔大〕

¹⁴ 〔是〕+〔大〕 大正藏に校注なし。

²⁵ 馳||駝【大】 大正藏に校注なし。

²⁶ 〔事〕一【大】

²⁷ 〔共〕+【大】

²⁸ 元の字は「擗」。

²⁹ 元の字は「擗」。

(第五紙) T23p84c01~

- 1 取持去於諸比丘尼前言看我師与我作是
- 2 衣好不諸比丘尼言好誰為汝作答言大德
- 3 迦留陀夷可舒看即為舒看当中条有男女
- 4 和合像中有年少比丘尼喜調戲笑者見已
- 5 語言是衣好自非迦留陀⁶²誰能為汝作如是
- 6 衣時有長老比丘尼樂持戒者作是言云何
- 7 名比丘故汚比丘尼衣是有比丘少欲知
- 8 足行頭陀聞是事心不喜以是事向仏広説
- 9 仏以是事集比丘僧知而故問迦留陀夷汝
- 10 実作是事不答言実作世尊仏以種種因縁
- 11 呵⁵¹責云何名比丘故汚比丘尼⁶²種種因縁
- 12 呵⁶³已語諸比丘以十利故与⁶⁴諸⁶⁵比丘結戒從
- 13 今是戒心⁶⁵説
- 14 若比丘与非親里比丘尼作衣波逸提非親
- 15 里者親里名⁶⁶父⁶⁶母姊妹⁶⁷兒⁶⁷女乃至七世因縁
- 16 里⁶⁸是名非親里衣者麻衣白麻衣赤麻衣⁶⁸
- 17 麻衣翅夷羅衣⁶⁹縷⁶⁹邪⁶⁷衣劫貝衣波逸提者
- 18 煮燒覆障若不悔過能障礙道
- 19 是中犯者若比丘為非親里比丘尼作衣隨
- 20 一一事中波逸提若浣隨一一事波逸提若
- 21 染一一曬波逸提若⁶²截割⁶³簪⁶³縫⁶⁴若刺針針波

50 【夷】+【大】 大正蔵に校注なし。
 51 呵⁵¹訶【大】 大正蔵に校注なし。
 52 尸⁵²衣【大】
 53 呵⁵³訶【大】 大正蔵に校注なし。
 54 【諸】-【大】 大正蔵の校注は、(與+(諸)(聖乙)*となつてゐる。
 55 (如是)+【大】
 56 (父)-【大】
 57 兒⁵⁷若【大】
 58 里⁵⁸異【大】
 59 芟⁵⁹芻【大】
 60 縷⁶⁰施【大】
 61 邪⁶¹耶【大】 大正蔵に校注なし。
 62 截割⁶²割截【大】
 63 元⁶³の字は「簪」。
 64 元⁶⁴の字は「縫」。

- 22 逸提若直⁶⁵縫針突吉羅若繩⁶⁶。突吉羅若
 23 簪⁶⁷緣突吉羅若与親里比丘尼作衣不犯⁶⁸。二十七事⁶⁹竟。
 24 仏在舍衛國爾時迦留陀夷与掘多比丘尼
 25 旧相識数数⁷⁰語親善狎習迦留陀夷住⁷¹掘多

(第六紙) T23284c26~

- 1 比丘尼房所屏覆処独与掘多比丘尼共
- 2 坐是中有比丘少欲知足行頭陀聞是事
- 3 心不喜呵責重呵責⁷²云何名比丘独与一比
- 4 丘尼屏覆処共坐種種因縁⁷³已向仏広
- 5 説仏以是事集比丘僧知而故問迦留陀夷汝
- 6 実作是事不答言実作世尊仏以種種因縁
- 7 呵⁷⁴責云何名比丘独与一比丘尼屏覆処共
- 8 坐種種因縁⁷⁵已語諸比丘以十利故与諸
- 9 比丘結戒從今是戒応如是説
- 10 若比丘独与一比⁷⁶尼屏覆処共坐波逸提
- 11 独与一比丘尼者正有二人更無第三人屏
- 12 処者若壁障衣慢⁷⁷障席障如是等物覆障
- 13 是名屏処波逸提者煮燒覆障若不悔過
- 14 能障礙道
- 15 是中犯者若比丘独与一比丘尼屏覆⁷⁸坐波
- 16 逸提起已還坐波逸提随起還坐随得爾
- 17 所波逸提⁷⁹二十八事⁸⁰竟
- 18 仏在舍衛國爾時迦留陀夷与掘多居士

⁶⁵ 元の字は「縫」。

⁶⁶ 綫⁶⁵綫⁶⁶併【大】 大正蔵の校注は、(併⁶⁵綫⁶⁶線⁶⁷〔聖〕、綫⁶⁸〔聖乙〕)となっている。

⁶⁷ 〔時〕+【大】

⁶⁸ 元の字は「擗」。

⁶⁹ 〔事〕-【大】

⁷⁰ 〔共〕+【大】 大正蔵に校注なし。

⁷¹ 住⁷¹往【大】

⁷² 是事心不喜呵責重呵責⁷²已呵責言【大】

⁷³ 呵⁷³訶【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁴ 呵⁷⁴訶【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁵ 呵⁷⁵訶【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁶ 〔丘〕+【大】

⁷⁷ 慢⁷⁷慢【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁸ 覆⁷⁸処【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁹ 〔事〕-【大】

- 19 婦旧相識数⁸⁰。語親善狎習時迦留陀夷往
- 20 居士婦舍独与此婦露地共坐諸白衣見已作
- 21 是言汝等看是為比丘婦為私通⁸¹。是比丘
- 22 必当共作⁸²。事是中有比丘少欲知足行頭
- 23 陀聞是事心不喜種種因緣⁸³。責云何名比
- 24 丘独与一女人露地⁸⁴。坐種種因緣⁸⁵。已向仏
- 25 広説仏以是事集比丘僧知而故問迦留陀

(第七紙) T23265a23~

- 1 夷汝実作是事不答言実作世尊仏以種種
- 2 因緣⁸⁶。責云何名比丘独与一女人露地共
- 3 坐⁸⁷。種種因緣⁸⁸。已語諸比丘以十利故与⁸⁹。諸⁹⁰
- 4 比丘結戒從今是戒応如是説
- 5 若比丘独与一女人露地共坐波逸提女人
- 6 者名有命若大若小若嫁未嫁堪作⁹¹。欲⁹²。事独
- 7 与一女人者正有二人更無第三人露地者
- 8 無壁障無衣⁹³。慢⁹⁴。障無席障波逸提者煮燒
- 9 覆障若不悔過能障礙道
- 10 是中犯者若比丘独与一女人露地共坐波
- 11 逸提起已還坐波逸提隨起還坐隨得爾所
- 12 波逸提若相去半尋坐波逸提相去一尋坐
- 13 波逸提相去一尋半坐突吉羅不犯者若相
- 14 去二尋若過二尋坐不犯(二十九/事⁹⁵。竟)
- 15 仏在舍衛国爾時有一居士請⁹⁶。四大弟子大
- 16 迦葉舍利弗目⁹⁷。連阿那律明日食皆默然受

80 【共】+【大】 大正蔵に校注なし。

81 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。

82 欲||姪【大】

83 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

84 【共】+【大】

85 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

86 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

87 (仏)+【大】

88 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

89 【諸】-【大】

90 欲||姪【大】 大正蔵の校注は、(姪||欲(聖)) (聖乙) * となっている。

91 慢||幔【大】 大正蔵に校注なし。

92 (事)-【大】

93 (仏)+【大】

94 (捷)+【大】

- 17 居士知諸比丘默然受已從坐起頭面作礼
- 18 右遶而去即還自舍通夜供辨種種多美飲食是夜辨多美飲食已晨朝敷雜色坐具自
- 19 往白四大比丘言時到偷蘭難陀比丘尼先
- 20 在是家出入是比丘尼早起着衣入是居士
- 21 舍見辨多美飲食敷雜色坐具時比丘尼問
- 22 居士婦辨多美飲食敷雜色坐具請比丘邪
- 23 答103請請誰102答言請大迦葉舍利弗目102連阿那
- 24 律是比丘尼語居士婦言請是小小比丘若
- 25

(第八紙) T23p85b19~

- 1 問我者当請大龍比丘居士婦言何者是大
- 2 龍答言大德提婆達多俱伽離騫陀達多三
- 3 文達多迦留羅104提舍105是比丘尼共居士婦語
- 4 時大迦葉在前行聞是語作是念我等若不
- 5 即入者是比丘尼当作大罪即作声比丘尼
- 6 聞声即默然迴面即見便語居士婦言汝請
- 7 是大龍居士婦言誰是大龍答言大迦葉舍
- 8 利弗目106連阿那律是時居士隨後来至聞比
- 9 丘尼作二種語語偷蘭難陀比丘尼言汝慙
- 10 惡比丘尼108賊比丘尼一頭兩舌適言小小比
- 11 丘復言大龍若更入我舍者当如賊法治汝
- 12 復語其婦言109若更前是比丘尼者我当唱
- 13 言汝非我婦当棄汝去爾時居士令諸比丘坐
- 14 雜色坐具自行水自与多美飲食与多美飲

⁹⁵ 遶||繞【大】 大正蔵に校注なし。

⁹⁶ 供辨||辨【大】

⁹⁷ 辨||辨【大】 大正蔵の校注は、(辨||辨(聖乙)下同)となっている。

⁹⁸ 辨||辨【大】

⁹⁹ 辨||辨【大】

¹⁰⁰ 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰¹ (言) + 【大】

¹⁰² (耶) + 【大】

¹⁰³ (捷) + 【大】

¹⁰⁴ 羅||盧【大】

¹⁰⁵ 舍||捨【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁶ (捷) + 【大】

¹⁰⁷ 慙||弊【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁸ (比丘尼) - 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁹ (汝) + 【大】

- 15 食自恣飽滿已居士行水諸比丘撰鉢已取
- 16 小¹¹⁰床在諸比丘前坐欲聽說法大迦葉說法
- 17 已与諸比丘俱從坐起去往詣仏所頭面礼
- 18 足一面立笑仏知故問大迦葉汝何因緣笑
- 19 答言世尊我等今日為偷蘭難陀比丘尼所
- 20 見字名謂為小小比丘復言大龍仏言何因
- 21 緣故爾大迦葉向仏広説如上因緣仏知故
- 22 問阿難有諸比丘食比丘尼作因緣食^邪三答
- 23 言^{實食} 123 仏以是事集比丘僧種種因緣^呵 113 責
- 24 云何名比丘知比丘尼作因緣得食便食種
- 25 種因緣^呵 124 已語諸比丘以十利故与^諸 115 比丘

(第九紙) T23p85c15~

- 1 結戒從今是戒応如是説
- 2 若比丘知比丘尼讚^嘆 116, 117 得食^食 118 波逸提知者
- 3 若自知若從他^聞 119 若比丘尼自説讚歎者比
- 4 丘尼讚歎波逸提者煮燒覆障若不悔過
- 5 能障礙道
- 6 是中犯者若比丘尼¹²⁰ 語居士婦当請比丘為
- 7 請誰^邪 121 答言請某甲¹²² 居士婦言爾比丘尼言¹²³
- 8 ^辨 124 粳米^飲 125 是比丘食者波逸提^又 126 比丘尼往
- 9 語居士婦言当誰¹²⁷ 比丘為請誰^邪 128 答言¹²⁹ 某居

- 110 【卑】 + 【大】
- 111 邪^{||}耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 112 食^{||}爾【大】
- 113 呵^{||}訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 114 呵^{||}訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 115 【諸】 - 【大】 大正蔵の校注は、(諸) + 比丘(聖) (聖乙) * となっている。
- 116 嘆^{||}歎【大】 大正蔵に校注なし。
- 117 【因緣】 + 【大】
- 118 【者】 + 【大】
- 119 聞^{||}知【大】
- 120 【往】 + 【大】
- 121 邪^{||}耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 122 【甲】 - 【大】
- 123 【為】 + 【大】
- 124 辨^{||}辨【大】
- 125 飲^{||}飯【大】 大正蔵に校注なし。
- 126 又^{||}有【大】
- 127 誰^{||}請【大】
- 128 邪^{||}耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 129 【請】 + 【大】

- 10 士婦言爾比丘尼言与辨¹³⁰蘇¹³¹豆羹比丘食者
 11 波逸提又比丘尼往語居士婦言当請比丘
 12 為請誰邪¹³²答言請某居士婦言爾比丘尼言
 13 為辨¹³³雉肉鷄¹³⁴肉鶉肉比丘食者波逸提乃至
 14 教辨¹³⁵少薑着食中比丘食者突吉羅
 15 又比丘尼往語居士婦言当請比丘為請誰
 16 邪¹³⁶答言請某居士婦言我已先請問飯何似
 17 答言餽飯比丘尼言与辨¹³⁷粳米飯比丘食者
 18 波逸提又比丘尼往語居士婦言当請比丘
 19 為請誰邪¹³⁸答言請某居士婦言我已先請問
 20 羹何似答言為作浮陵伽豆羹比丘尼言為
 21 辨¹³⁹蘇¹⁴⁰豆羹比丘食者波逸提有比丘尼往語
 22 居士婦言当請比丘為請誰邪¹⁴¹答言請某
 23 居士婦言我已先請問作何食答言牛肉莫
 24 与牛肉為辨¹⁴²雉肉鷄¹⁴³肉鶉肉比丘食者波逸
 25 提乃至教以少薑着食中比丘食者突吉

(第十紙) T23p86a15~

- 1 羅仏在舍衛國爾時有居士先有心欲請仏
 2 及僧設会時世飢餓¹⁴⁴食難得是居士既不大
 3 富¹⁴⁵少於田宅人民作使夏月欲末是居士憂
 4 愁言奈¹⁴⁶何辛苦我¹⁴⁷有心欲請仏及僧設会今

- 130 辨^大 辨^大
 131 蘇^大 蘇^大 大正蔵の校注は、(酥^大蘇^大〔聖〕*、蘇^大〔聖乙〕*)となつてゐる。元の字は「模」。
 132 邪^大 邪^大 大正蔵に校注なし。
 133 辨^大 辨^大
 134 元の字は「鷄」の動用字。
 135 辨^大 辨^大
 136 邪^大 邪^大 大正蔵に校注なし。
 137 辨^大 辨^大
 138 邪^大 邪^大 大正蔵に校注なし。
 139 辨^大 辨^大
 140 蘇^大 蘇^大 元の字は「模」。
 141 邪^大 邪^大 大正蔵に校注なし。
 142 辨^大 辨^大
 143 元の字は「鷄」の動用字。
 144 飢^大 飢^大
 145 富^大 富^大 大正蔵に校注なし。
 146 奈^大 奈^大 大正蔵に校注なし。
 147 〔先〕+〔大〕

5 世飢儉飲食難得我不大富¹⁵⁸少於田宅人民
 6 作使夏月欲末莫令我於福德空過若不能
 7 都請僧當於僧中請少多比丘作是念已往
 8 詣祇桓打撻撻諸比丘問居士汝何因緣故
 9 打撻撻答言我欲僧中請爾所比丘明日到
 10 我舍食諸比丘言爾是居士請僧已爾時更
 11 有急因緣事須出城行便約勅婦¹⁵⁶我有急事
 12 須自行去汝當請爾所比丘能辨¹⁵⁷如是如是
 13 飲食不時婦信樂福德故答言我能如教即
 14 辨¹⁵⁷種種多美飲食敷雜色坐具無人可遣請
 15 諸¹⁵⁸比丘時有一比丘尼先出入是家是比丘
 16 尼早起着衣往其舍見辨¹⁵⁸多美飲食敷雜色
 17 坐具見已問言請比丘邪¹⁵⁴答言欲請如夫所
 18 教我盡辨¹⁵⁹已無人可往請比丘汝能往請比
 19 丘來者并在此食答言能請時¹⁵⁹比丘置衣鉢
 20 空地經行立待請至時比丘尼出城見諸比
 21 丘各已莊嚴語諸比丘言受某居士請者飲
 22 食已辨¹⁵⁹自知時到諸比丘作是念仏結戒若
 23 比丘尼作因緣食不応噉今比丘尼使來是
 24 比丘尼必作食因緣諸比丘不往失是請故
 25 是日斷食

(第十一紙) T23p86b11~

1 時居士行還問婦言汝請諸比丘好供養邪¹⁵⁸
 2 婦言如夫所教我辨¹⁵⁸多美飲食敷雜色坐具
 3 遣比丘尼往喚諸比丘不來當何所供養居
 4 士聞已瞋恚言若諸比丘不飲食者何以受

148 富=富【大】 大正蔵に校注なし。

149 (諸)+【大】

150 辨=辨【大】

151 辨=辨【大】

152 (諸)-【大】

153 辨=辨【大】

154 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。

155 辨=辨【大】

156 (諸)+【大】

157 辨=辨【大】

158 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。

159 辨=辨【大】

5 我請諸比丘不知今世飢餒飲食難得諸人
 6 妻子尚乏飲食況与乞人是居士不能忍瞋
 7 故入祇桓詣仏所言諸比丘是居士欲入祇
 8 桓時見所請比丘謂言汝等若不飲食者何
 9 以受我請汝寧不知今世飢餒飲食難得諸
 10 人妻子尚乏飲食況与乞人諸比丘言居士
 11 莫愁憂仏為我等結戒不得食比丘尼作因
 12 緣食今日比丘尼作使來故我等謂是比丘
 13 尼因緣飲食是以不往朝來我等斷食是居
 14 士聞比丘斷食故瞋即除滅語諸比丘言我
 15 先有心欲請仏及僧設食今世飢餒飲食
 16 難得我不大富¹⁶⁰少於田宅人民作使夏月欲
 17 末我不欲於福德中空過若不能都請者当
 18 於僧中請少多比丘明日食汝等当知我自
 19 發心非比丘尼作因緣汝等明日來食噉冷
 20 食諸比丘不知云何¹⁶¹是事白仏以是事集
 21 比丘僧種種因緣讚戒讚持戒讚戒讚持戒
 22 已語諸比丘從今是戒応如是説若比丘知
 23 比丘尼讚歎得食食波逸提除檀越先請先
 24 請者檀越先自發心思惟欲請比丘僧
 25 是中不犯者若比丘尼往語居士婦言当

(第十一紙) T23p86c07~

1 請比丘為請誰邪¹⁶²答言請某居士婦言我已先
 2 請比丘尼言為辨¹⁶³粳米飯若為家属作比丘
 3 食者不犯又比丘尼往語居士婦言当請比
 4 丘為請誰邪¹⁶⁴答言請某居士婦言我已先請
 5 比丘尼言為辨¹⁶⁵蘇¹⁶⁶豆羹若為家属作比丘食
 6 者不犯又比丘尼往語居士婦言当請比丘
 7 為請誰邪¹⁶⁷答言請某居士婦言我已先請比

¹⁶⁰ 富||富【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶¹ (以)+【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶² 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶³ 辨||辦【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁴ 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁵ 辨||辦【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁶ 蘇||酥【大】 元の字は「蘇」。

¹⁶⁷ 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。

- 8 丘尼言為辨¹⁶⁸雉肉鷄¹⁶⁹肉鶉肉若為家屬作比
 9 丘食者者¹⁷⁰不犯乃至教以少薑著食中若為¹⁷¹属
 10 作比丘食者不犯
 11 若比丘尼往語居士婦言当請比丘為請誰
 12 邪¹⁷²答言請某居士婦言我已先請比丘尼言
 13 為辨¹⁷³粳米飯若先為比丘作比丘食者不犯
 14 又比丘尼往語尼¹⁷⁴士婦言当請比丘為請誰
 15 邪¹⁷⁵答言請某居士婦言我已先請比丘尼言
 16 為辨¹⁷⁶蘇¹⁷⁷豆羹若先為比丘作比丘食者不犯
 17 又比丘尼往語居士婦言当請比丘為請誰
 18 邪¹⁷⁸答言請某居士婦言我已先請比丘尼言
 19 為辨¹⁷⁹雉肉鷄¹⁸⁰肉鶉肉若先為比丘作比丘食者
 20 不犯乃至教以少薑著食中若先為比丘作
 21 比丘食者不犯〈三十ノ事¹⁸¹竟〉
 22 仏在舍衛國爾時有一居士以無常因緣故
 23 亡失田宅家人死盡但有一兒在是中聞¹⁸²説
 24 飯仏及僧者生切利天即發是願我若飯仏
 25 及僧者善作是願已復念我今無所有当行

(第十一紙) T23p87a04~

- 1 客作爾時舍衛國有一富貴居士多有田宅
 2 人民金銀財物種種福德威¹⁸³相成就時¹⁸⁴兒往
 3 到其舍語居士言我為汝客作居士問¹⁸⁵汝何

168 辨¹⁶⁸辦【大】
 169 元の字は「鷄」の動用字。
 170 【者】-【大】 大正蔵に校注なし。
 171 【家】+【大】
 172 邪¹⁷²耶【大】 大正蔵に校注なし。
 173 辨¹⁷³辦【大】
 174 尼¹⁷⁴居【大】 大正蔵に校注なし。
 175 邪¹⁷⁵耶【大】 大正蔵に校注なし。
 176 辨¹⁷⁶辦【大】
 177 蘇¹⁷⁷酥【大】 元の字は「糲」。
 178 邪¹⁷⁸耶【大】 大正蔵に校注なし。
 179 辨¹⁷⁹辦【大】
 180 元の字は「鷄」の動用字。
 181 【事】-【大】
 182 聞¹⁸²聞【大】 「聞」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「聞」(朱書)あり。
 183 大正蔵の校注は、(威¹⁸³盛(聖乙))となつてゐる。
 184 【小】+【大】 大正蔵の校注は、(小¹⁸⁴)-(聖乙)*となつてゐる。
 185 【言】+【大】

- 4 所能答言我能書能讀書能算數能相金銀
- 5 錢相毛相絲綿絹相珠相能坐金肆銀肆珠
- 6 肆銅肆客作肆居士言汝一歲作索幾許物
- 7 答言千金錢居士言汝小兒不知今世飢儉
- 8 食尚難得何況索価是¹⁸⁸兒言我多技能如是
- 9 上中下**共相**¹⁸⁹決断定雇金錢五百小兒言我
- 10 応多得価直我急故今与汝作当共言要歳
- 11 盡一時償我価居士聞已作是念自有作人
- 12 作便索価語是¹⁹⁰兒言汝莫憂愁歳竟当一時
- 13 与汝
- 14 居士安着肆上時是小兒好看市肆是居士
- 15 先不得大利今得再三倍是居士過一月已
- 16 檢校肆中得二倍利居士自念若以是物我
- 17 自¹⁹¹坐肆不得是利此客作人多有福德今得
- 18 是利皆由小兒即將¹⁹²着田上於田中了了**勲**¹⁹³
- 19 作好看守護先倉不滿今皆倍満歳竟看倉
- 20 先不滿者今二倍満居士復念即以是田作
- 21 処我自在中不得是利是小兒多有福德
- 22 我倉**庫**¹⁹⁴満皆是¹⁹⁵兒力歳竟¹⁹⁶兒到居士所一時
- 23 索価居士小避¹⁹⁷作是念是兒若得価者便捨
- 24 我去是以小避非不欲与是小兒数来索価
- 25 居士言汝急索価欲作何物答言居士我聞人

(第十四紙) T23p87a29~

- 1 説飯仏及僧生忉利天以是故我一歳客**信**¹⁹⁸
- 2 欲飯仏及僧生忉利天居士聞是語即生**作**¹⁹⁹
- 3 心是兒為他故能一歳受**勲**²⁰⁰苦居士言欲何

186 【小】+【大】

187 共相||相共【大】

188 【小】+【大】

189 【在】+【大】

190 【去】+【大】

191 勲||勲【大】 大正蔵の校注は、「(去)一(聖乙)*」となっている。

192 庫||蔵【大】

193 【小】+【大】

194 【小】+【大】

195 【去】+【大】

196 信||作【大】 大正蔵に校注なし。

197 作||信【大】

198 勲||勲【大】

大正蔵に校注なし。
大正蔵に校注なし。

- 4 処作答言欲祇桓中作是居士方便欲令好
- 5 人入¹⁹⁹舍作是念已語小兒言祇桓中少釜鑊
- 6 釜器薪草作人不如我家多有釜鑊釜器
- 7 薪草作人種種具足正使乏少我当相助汝²⁰⁰清
- 8 仏及僧来就我舍小兒即出居士舍向祇
- 9 陀林去
- 10 爾時世尊晡時与無數大衆圍²⁰¹遶²⁰²說法時小
- 11 小兒遙見仏在樹林²⁰³下²⁰⁴善撰諸根成就第一
- 12 寂滅身出光²⁰⁵炎²⁰⁶如真金聚端正殊特令人心
- 13 清²⁰⁷見已往到仏所頭面礼足在一面坐仏為小
- 14 兒種種因縁說法示教利喜已默然是小兒
- 15 從坐起合掌白仏言願世尊明日及僧受我
- 16 請仏默然受是兒知仏默然受已頭面礼足
- 17 右遶而去還居士舍通夜²⁰⁸辨²⁰⁹種種多美飲食
- 18 爾時舍衛国節日早起白衣²⁰⁷持猪肉乾糲与
- 19 衆僧諸比丘受取嘗看漸²⁰⁸飽滿是小兒通
- 20 夜²⁰⁹辨²⁰⁹多美飲食²¹⁰早起敷坐処往白仏言食具
- 21 已²¹¹辨²¹¹仏自知時諸比丘往居士舍仏自房住
- 22 迎食分是小兒見僧坐已自手行水持食欲
- 23 着上²¹²鉢中上²¹³坐²¹³言少着第二上²¹⁴坐²¹⁴言莫多
- 24 着第二上²¹⁵坐²¹⁵言着半如是展轉少与莫多与
- 25 与半一切僧皆²¹⁶作是語小兒往看飯処猶不

199 【其】 + 【大】

200 清²⁰⁰ 請²⁰⁰ 【大】 「清」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「請」（朱書）あり。

201 遶²⁰¹ 繞²⁰¹ 【大】 大正蔵に校注なし。

202 【小】 - 【大】

203 下²⁰³ 中²⁰³ 【大】 大正蔵に校注なし。

204 炎²⁰⁴ 焰²⁰⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。

205 清²⁰⁵ 淨²⁰⁵ 【大】

206 辨²⁰⁶ 辦²⁰⁶ 【大】

207 【多】 + 【大】 大正蔵に校注なし。

208 【多噉】 + 【大】

209 辨²⁰⁹ 辦²⁰⁹ 【大】

210 【已】 + 【大】

211 辨²¹¹ 辦²¹¹ 【大】

212 坐²¹² 座²¹² 【大】 大正蔵に校注なし。

213 坐²¹³ 座²¹³ 【大】 大正蔵に校注なし。

214 坐²¹⁴ 座²¹⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。

215 坐²¹⁵ 座²¹⁵ 【大】 大正蔵に校注なし。

216 【悉】 + 【大】

(第十五紙) T23p87b25~

- 1 大減次看羹処亦不大減看瓮器中皆滿不
- 2 減爾時小兒至上**坐**²¹⁷前言為慈愍我故不食
- 3 **邪**²¹⁸為以世儉故為以一歲客作**勲**²¹⁹苦故為
- 4 食不熟不香不美²²⁰上**坐**²²¹直性言我不以慈愍
- 5 不以世儉不以客作**勲**²²²苦不以不熟不香不
- 6 美故今日舍衛城節日早起大得猪肉乾糲
- 7 初欲少嘗漸飽滿是故食少小兒聞已愁
- 8 憂心悔我作食不具足或不得生忉利天²²³是
- 9 小兒出居士舍**涕**²²⁴哭詣仏²²⁵說諸比丘食少
- 10 爾時世尊与大衆恭敬圍**遶**²²⁶而為説法仏遙
- 11 見小兒啼哭而來仏問小兒何以啼²²⁷即以是
- 12 事向仏広説仏語小兒汝疾還去隨諸比丘
- 13 能噉者与汝必得生忉利天小兒聞已大歡
- 14 喜作是念仏無異語²²⁸我当生忉利天無疑時
- 15 小兒持食至上**坐**²²⁹所言是食香美少多取復
- 16 以一種与言是復大好少多取第二第三皆
- 17 如是**歡**²³⁰小兒自手与多美飲食諸比丘自恣
- 18 飽滿已知僧撰鉢自手行水取小床坐²³¹僧前
- 19 欲聽説法上**坐**²³²説法已從坐起去諸比丘隨
- 20 次起去
- 21 時舍衛城晡時有大海諸估客至**買**²³³宝物城
- 22 外各相謂言当入城買飲食即遣人求以二
- 23 因縁故求不能得一以世儉二以時熱食不

- 217 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。
- 218 邪＝耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 219 勲＝勤【大】 大正蔵に校注なし。
- 220 【故】＋【大】
- 221 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。
- 222 勲＝勤【大】 大正蔵に校注なし。
- 223 【上】＋【大】
- 224 涕＝啼【大】 大正蔵に校注なし。
- 225 【所】＋【大】 大正蔵に校注なし。
- 226 遶＝繞【大】 大正蔵に校注なし。
- 227 【耶】＋【大】
- 228 語＝記【大】
- 229 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。
- 230 歡＝勸【大】 大正蔵に校注なし。
- 231 【衆】＋【大】 大正蔵に校注なし。
- 232 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。
- 233 買＝置【大】

24 留殘時買食人還語估客主²³⁴ 城中買食都不
 25 可得估客主言我於大海險難初不乏食今

(第十六紙) T23p87c21~

- 1 至大城而不能得汝等更往審諦²³⁵ 求隨以何
- 2 物方便令得是小兒先啼向仏時多人見知
- 3 諸²³⁶ 人語估客言某舍今日多辨²³⁷ 飲食而所用
- 4 少汝往彼舍求食必得估客往居士舍語守
- 5 門者言²³⁸ 語汝家主有²³⁹ 海估客今在門下時守
- 6 門者即入白主主言便入即入与坐共相問
- 7 訊樂不樂居士小默然便問汝何故來答言
- 8 須食故來居士言此是小兒飲食非我有也
- 9 估客語小兒言我等須飲食小兒言可得不
- 10 須道価今汝估客為有幾²⁴⁰ 人答言有五百人
- 11 盡喚來入是人即往語估客主有飲食可得
- 12 而不須価估客主言我等飢乏若以貴価買
- 13 尚取何況直得皆當共去留人守物余人皆
- 14 往入居士舍小兒令坐自²⁴¹ 行水与多美飲食
- 15 自恣飽滿与多美飲食自恣飽滿已是²⁴² 兒知
- 16 食竟撰器行水在一面坐
- 17 時近²⁴³ 兒辺有憍薩羅国大銅杆²⁴⁴ 時估客主語
- 18 小兒言持此杆²⁴⁵ 來小兒言何以故但取來即持
- 19 來着估客主前時估客主語諸估客言隨
- 20 何舍得如是好供養者应当以好物報償汝
- 21 若能者着此杆²⁴⁶ 中時估客主衣角頭有珠直
- 22 十萬金錢解着杆²⁴⁷ 中第二估客有珠直九万

²³⁴ 主=至【大】
²³⁵ (遍) + 【大】
²³⁶ 諸=是【大】
²³⁷ 辨=辨【大】
²³⁸ (言) - 【大】
²³⁹ (大) + 【大】
²⁴⁰ (許) + 【大】
²⁴¹ (手) + 【大】
²⁴² (小) + 【大】
²⁴³ (小) + 【大】 大正蔵に校注なし。
²⁴⁴ 杆=盂【大】 大正蔵の校注は、(盂=杆(聖)〈聖乙〉*)となっている。
²⁴⁵ 杆=盂【大】
²⁴⁶ 杆=盂【大】
²⁴⁷ 杆=盂【大】

- 23 金錢如有直八万七万六万五万四万三万
 24 二万一万者着銅杆²⁴⁸中溢滿一杆²⁴⁹持与小
 25 兒以是相与汝随意用小兒言我直与食不

(第十七紙) T23p88a18~

- 1 売求価諸估客言我亦直与不以買食我等
 2 所食幾許是一一珠多有所直小兒復疑我
 3 若取物或不得生忉利天²⁵⁰諸²⁵¹估客主²⁵²小住待
 4 我問仏還估客言随意小兒出城往詣仏所
 5 頭面礼足在一面立以是事向仏広説仏言
 6 但取必得生忉利天²⁵³今是華報果報在後聞
 7 是語已念言仏無異語与我受記必得生忉
 8 利天即還到估客所取是宝物是小兒忽然
 9 大富貴故即名為忽然居士所可客作居士
 10 家大富貴種種福德威相成就事事具足但
 11 無兒子唯²⁵⁴有一女端正殊²⁵⁵妙是居士作是念
 12 是小兒姓不滅我但貧乏財今日所得財物
 13 我舍不及今当与女作婦即自語婦婦言隨
 14 意是居士即以女与如偈所説
 15 有者皆盡 高者亦墮 合会有離 生者有死
 16 以是因縁故是居士死波斯匿王聞已問言
 17 是居士有兒不答言無兒有兄弟不答言無
 18 有誰料²⁵⁶理是家答言有一女婿²⁵⁷善好有功德
 19 料理其家王言其家財物即与人復与舍
 20 衛城内大居士職位作是教已即用作大居
 21 士職是²⁵⁸比丘食後出城往詣仏所頭面礼足
 22 在一面坐諸仏常法諸比丘食還以如是語
 23 勞問比丘飲食多美衆僧飽滿不仏以是語

²⁴⁸ 杆 = 孟 【大】

²⁴⁹ 杆 = 孟 【大】

²⁵⁰ 〔上〕 + 【大】 大正蔵の校注は、(〔上〕 - 〈聖〉 〈聖乙〉 *) となっている。

²⁵¹ 諸 = 語 【大】

²⁵² 〔誰〕 + 【大】

²⁵³ 〔上〕 + 【大】

²⁵⁴ 唯 = 惟 【大】

²⁵⁵ 殊 = 殊 【大】

²⁵⁶ 元の字は「析」。以下同じ。

²⁵⁷ 元の字は「婿」。

²⁵⁸ 〔諸〕 + 【大】 大正蔵に校注なし。

24 問諸比丘飲食多美衆僧飽滿不諸比丘答
25 言飲食多美衆僧飽滿以是事向仏広説仏

(第十八紙) T23p88b16~

- 1 以是事集比丘僧以種種因縁²⁵⁸呵²⁵⁹諸²⁶⁰比丘云
- 2 何名比丘数数食仏但呵²⁶¹責而未結戒
- 3 仏在維邪²⁶²離爾時²⁶³有一大力大臣往詣仏所
- 4 頭面礼足一面坐已仏以種種因縁²⁶⁴示教利
- 5 喜示教利喜已默然是大力大臣知仏種種
- 6 示教利喜已從坐起合掌白仏言世尊願仏
- 7 及僧受我明日食仏默然受大臣知仏受已
- 8 即礼仏足右邊²⁶⁵而去還到自舍通夜辨²⁶⁶種種
- 9 淨潔多美飲食爾時維邪²⁶⁷離節日衆僧多得
- 10 猪肉乾糲諸比丘受已欲少嘗看漸漸飽滿
- 11 是人辨²⁶⁸種種淨潔多美飲食已早起敷坐²⁶⁹遣
- 12 使白仏食具已辨²⁷⁰仏自知時諸比丘往大臣
- 13 舍仏自房住迎食分是大臣見僧坐已自手
- 14 行水自持飯与上坐²⁷¹上坐²⁷²言莫多着第二上
- 15 坐²⁷³言少着第二上坐²⁷⁴言与半如是展轉莫多
- 16 与少与与半一切皆爾²⁷⁵是大臣往看飯処飯
- 17 不大減看羹処羹不大減看瓮杆²⁷⁶器中皆滿
- 18 不減爾時大臣往上坐²⁷⁷所言何故不食為慈

259 呵=訶【大】 大正蔵に校注なし。
260 諸=責【大】
261 呵=訶【大】 大正蔵に校注なし。
262 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。
263 〔維耶離〕+【大】
264 〔説法〕+【大】
265 邊=繞【大】 大正蔵に校注なし。
266 辨=辨【大】
267 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。
268 辨=辨【大】
269 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
270 辨=辨【大】
271 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
272 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
273 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
274 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
275 〔時〕+【大】
276 杆=盂【大】
277 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。

- 19 愍我故為世儉故為食不熟不香不美上坐²⁷⁸
 20 直実言我不以慈愍故不以世儉不以不熟
 21 不香不美故今是節日早起大²⁷⁹得猪肉乾糲
 22 初欲少嘗漸漸飽滿是故食少
 23 大臣聞說是事即發悲言収是好食去持猪
 24 肉乾糲来与爾時使人即収好食持猪肉乾
 25 糲滿鉢与大臣言食汝謂我家無是食邪²⁸⁰諸

(第十九紙) T23p88c12~

- 1 比丘即時漸²⁸¹漸²⁸²不食不語大臣見已作是念
 2 好食尚不能噉況噉飽食還使収去時大臣
 3 至上坐²⁸³前言汝等好食尚不能噉何況飽食
 4 猪肉乾²⁸³麥²⁸³世間宜法若受他請応待其食大
 5 臣自手捉好食言是食香美可少多噉復捉
 6 余食言是食香美勝於前者可受食如是
 7 勸已一切僧皆飽滿爾時大臣以淨潔多美飲²⁸⁴
 8 食自恣飽滿已自手行水知僧撰鉢竟取小
 9 床坐僧前欲聽説法上坐²⁸⁵説法已從坐起去
 10 諸比丘随次第²⁸⁶起去還詣仏所頭面礼足諸
 11 仏常法比丘食還如是勞問諸比丘²⁸⁷飲食多
 12 美僧飽滿不仏以是語問諸比丘飲食多美
 13 僧飽滿不諸比丘言飲食多美衆僧飽滿以
 14 是事向仏広説仏以是事及先因縁集比丘
 15 僧種種因縁呵²⁸⁸責諸比丘云何名比丘数数
 16 食種種因縁呵²⁸⁹已語諸比丘以十利故与諸²⁹⁰
 17 比丘結戒從今是戒応如是説若比丘数数
 18 食波逸提数数者食已更食波逸提者煮燒

²⁷⁸ 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。

²⁷⁹ 大＝多【大】

²⁸⁰ 邪＝耶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸¹ 漸漸＝慚愧【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸² 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸³ 麥＝糲【大】

²⁸⁴ 飲＝飯【大】

²⁸⁵ 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸⁶ 大正蔵の校注は、(第)一(聖乙)となっている。

²⁸⁷ 〔諸比丘〕－【大】

²⁸⁸ 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸⁹ 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁹⁰ 〔諸〕－【大】

- 19 覆障若不悔過能障礙道是中犯者若比丘數數食波逸提不犯者不數數食
- 20 比丘在王舍城爾時有一比丘於秋月²⁹²冷熱病盛不能飲食羸瘦無色²⁹³比丘羸瘦無色阿難答
- 21 色知而故問阿難何故比丘羸瘦無色阿難答言世尊是比丘秋月冷熱病盛不能飲食是故羸瘦無色²⁹⁴以是因緣故集比丘僧語諸

(第二十紙) T23p89a09~

- 1 比丘從今²⁹⁵憐愍利益病比丘故聽三種具足食²⁹⁶謂如²⁹⁷好色香味病比丘受一請不²⁹⁸受²⁹⁹第
- 2 請若一請³⁰⁰處不能飽³⁰¹處受第二請不³⁰²受³⁰³第
- 3 二請³⁰⁴第二³⁰⁵處不能飽³⁰⁶處受第三請不³⁰⁷受³⁰⁸第
- 4 四請若第三³⁰⁹處不能飽³¹⁰處受已漸漸食乃至
- 5 日中從今是戒³¹¹處如是說若比丘數數食波逸提除³¹²時³¹³時者謂病時³¹⁴病名³¹⁵若人冷盛熱盛風盛得食則止是中犯者若比丘無病數數食波逸提若³¹⁶疾病不犯
- 6 比丘在舍衛國爾時諸比丘入舍衛城乞食時得有衣³¹⁷請食³¹⁸請主言受我食者³¹⁹當以衣施諸比丘言³²⁰比丘未聽我等為衣故數數食諸比丘不知云何是事³²¹白³²²比丘以是事集比丘僧種種因緣讚戒讚持戒讚持戒已語諸比丘從今衣因緣故聽諸比丘數數食從今是戒³²³處如是說若比丘數數食波逸提除³²⁴時³²⁵時者病時³²⁶施衣時是名時
- 18 是中犯者若比丘有衣食請彼有衣食來受請不犯食者亦不犯³²⁷又比丘有衣食請彼無

291 (時) + 【大】
 292 (日) + 【大】
 293 (応食) + 【大】
 294 (如) - 【大】 大正蔵に校注なし。
 295 (二) + 【大】 大正蔵の校注は、(二請) - (聖、(二)) - (聖乙) となっている。
 296 (請) + 【大】
 297 (満) + 【大】
 298 (請) + 【大】
 299 (余) - 【大】 大正蔵の校注は、(除 + (餘) (聖 (聖乙) *) となっている。
 300 病名 = 是名時 【大】
 301 (余) - 【大】

20 衣食來受請不犯食者波逸提又比丘有衣
 21 食請彼有衣食無衣食來受請不犯食者波
 22 逸提
 23 若比丘無衣食請彼無衣食來受請突吉羅
 24 食者波逸提又比丘無衣食請彼有衣食來

(第十一紙) T23p89b03~

1 受請突吉羅食者不犯又比丘無衣食請彼
 2 有衣食無衣食來受請突吉羅食者波逸提
 3 若比丘有衣食無衣食請彼有衣食無衣食
 4 來受請突吉羅食者波逸提又比丘有衣食
 5 無衣食請彼有衣食來受請突吉羅食者
 6 不犯又比丘有衣食無衣食請彼無衣食來受
 7 請突吉羅食者波逸提不犯者得多有衣食
 8 請一切有衣食來不犯
 9 仏在舍衛國爾時舍衛城節日多有飲食諸
 10 居士作種種飲食持詣園中便入祇桓打撻
 11 撻諸比丘問居士何因緣故打撻諸居士
 12 言我於衆中請爾所比丘飲食諸比丘言仏
 13 未聽節日在白衣會中數數食居士言我等
 14 白衣法若嫁娶節日集会³⁰²喚³⁰³諸親族³⁰⁴識我
 15 等貴重諸比丘更無天神勝沙門積子汝等
 16 必當受我會食諸比丘不知云何是事白仏
 17 仏以是事集比丘僧種種因緣讚戒讚持戒
 18 讚戒讚持戒已語諸比丘從今聽諸比丘節
 19 日數數食彼與他竟受彼中何者與他謂相
 20 食故作食齊日食月一日食十六³⁰⁴日食衆僧
 21 食別房食衆僧請獨請皆應與他若五衆請
 22 食不應與他 〈相者吉凶³⁰⁵之相也故作者／大德比丘人為之供養也〉³⁰⁶〔三十一／事³⁰⁷竟〕
 23 仏在舍衛國爾時憍薩羅國諸居士作福德
 24 舍若有沙門婆羅門來是中宿者諸居士往

³⁰² 喚＝醜【大】

³⁰³ 如＝知【大】 大正藏に校注なし。

³⁰⁴ 六＝五【大】

³⁰⁵ 〔之〕＝【大】

³⁰⁶ 〈五衆者比丘尼六法／尼沙弥沙弥尼也〉＋【大】

³⁰⁷ 〔事〕＝【大】

(第十一紙) T23p89b29~

- 1 迎問訊禮拜湯水洗脚蘇油塗足給好床榻
- 2 臥具氈褥被枕明日与香美前食後食怛鉢
- 3 那恭敬供養爾時六群比丘從憍薩羅国遊
- 4 行向舍衛城到福德舍諸居士即時出迎問
- 5 訊禮拜湯水洗脚蘇油塗足給好床榻臥具
- 6 氈褥被枕明日与香美前食後食怛鉢那恭
- 7 敬供養爾時六群比丘共相謂言爾時惡世
- 8 飲食難得当小住此受樂作是念已即住不
- 9 去是中³⁰⁸有沙門婆羅門來欲宿者不相容受
- 10 是後來沙門婆羅門語主人³¹⁰我等得此宿不
- 11 主人言好便入至六群比丘所欲宿六群比
- 12 丘言不得何以故我以³¹¹先住六群比丘素健
- 13 多力客來不能共語諸居士瞋³¹²責言諸沙
- 14 門积子自言善好有德云何強住福德舍如
- 15 王如大臣是有比丘少欲知足行頭陀聞
- 16 是事心不喜向仏広説仏以是事集比丘僧
- 17 知而故問六群比丘汝實作是事不答言實
- 18 作世尊仏以種種因縁呵³¹³責云何名比丘福
- 19 德舍過一食仏種種因縁呵³¹⁴責已語諸比丘
- 20 以十利故与³¹⁵諸比丘結戒從今是戒応如是
- 21 説
- 22 若比丘福德舍過一食波逸提福德舍³¹⁶者³¹⁷
- 23 夜宿応一食波逸提者煮燒覆障若不悔
- 24 過能障礙道是中犯者若比丘福德舍過一
- 25 食波逸提若過一夜宿不食者突吉羅若余

(第十一紙) T23p89c24~

- ³⁰⁸ 爾^二今【大】 大正藏に校注なし。
- ³⁰⁹ (更) + 【大】 大正藏に校注なし。
- ³¹⁰ (言) + 【大】
- ³¹¹ 以^二已【大】
- ³¹² 呵^二訶【大】 大正藏に校注なし。
- ³¹³ 呵^二訶【大】 大正藏に校注なし。
- ³¹⁴ 呵^二責^二訶【大】
- ³¹⁵ (諸) - 【大】
- ³¹⁶ (法) + 【大】
- ³¹⁷ (是中^二) + 【大】

- 1 処宿是中食者波逸提若一夜宿一食不犯
- 2 〈福德舍心／言一宿处〉
- 3 仏在舍衛国爾時長老舍利弗從憍薩羅国
- 4 遊行向舍衛国到福德舍時風病³¹⁸作是念我
- 5 若住中過一宿不食得突吉羅我寧前³¹⁹去去
- 6 已道中病更增劇漸漸遊行到舍衛国詣仏
- 7 所頭面礼足一面坐諸仏常法有客比丘来
- 8 以如是語³²⁰問諸比丘忍不足不安樂住不
- 9 乞食不難道路不疲³²¹仏以是語問舍利弗忍³²²
- 10 足³²³安樂住不乞食不難道路不疲³²⁴邪³²⁵舍利弗
- 11 言世尊乞食易得但不可忍道路疲極以是
- 12 事向仏広説仏以是事集比丘僧種種因縁
- 13 讚戒讚持戒讚戒讚持戒已語諸比丘從今
- 14 是戒心如是説若比丘不病福德舍過一食
- 15 波逸提病者乃至從一聚落至一聚落身傷
- 16 破乃至竹葉所傷皆名為病是中犯者若比
- 17 丘無病住福德舍過一食波逸提若過一宿
- 18 不食³²⁶突吉羅若余処宿是中食波逸提不犯
- 19 者一夜宿一食若病若福德舍是親里作若
- 20 先請若住福德舍待伴欲入險道若多有福
- 21 德舍若知福德舍人留住皆不犯〈三十二／事³²⁷竟〉
- 22
- 23 十誦律二誦³²⁸卷第六³²⁹
- 24

(第二十四紙)

- 1 皇后藤原氏光明子奉為
- 2 尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣贈

³¹⁸ (癩) + 【大】 大正蔵に校注なし。
³¹⁹ 前||当【大】
³²⁰ (勞) - 【大】
³²¹ (耶) + 【大】
³²² (不) + 【大】 大正蔵の校注は、(不) - (聖) (聖乙) * となっている。
³²³ (不) + 【大】
³²⁴ 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
³²⁵ (者) + 【大】
³²⁶ (事) - 【大】
³²⁷ (二誦) - 【大】 「二」の右傍に「第」(朱書)あり。
³²⁸ 六||十二【大】 「六」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「十二」(朱書)あり。

3 從一位橘氏太夫人敬写一切經論及律

4 莊嚴既了伏願憑斯勝因奉資冥

5 助永庇菩提之樹長遊般若之津又

6 願上奉 聖朝恒延福寿下及寮

7 采共盡忠節又光明子自發誓言弘

8 濟沈淪勤除煩障妙窮諸法早契菩提

9 乃至伝灯無窮流布天下聞名持卷

10 獲福消災一切迷方会帰覺路

天平十二年五月一日記

11

12 (後補軸付紙)

13 大正八年十一月修理之

帝室博物館總長 (医学博士 / 文学博士) 森林太郎 (花押)

董事 奈良帝室博物館長久保田鼎 (花押)